

平成 25 年 7 月 11 日

三菱製紙株式会社

八戸工場 新設した大判カッターの営業運転開始について ～仕上設備の効率化投資が完了～

当社は、東日本大震災で被災した八戸工場（青森県八戸市、日比野良彦 上席執行役員八戸工場長）において、生産設備全般の復興（平成 23 年 11 月に完了）を行うとともに、競争力の強化に向けた取り組みとして、仕上設備への効率化投資を実施してまいりました。

本年 1 月の PPC（コピー用紙）仕上ラインの営業運転開始に続き、このたび、大判カッター（印刷用紙を断裁するライン）が完成し、平成 25 年 7 月から営業運転を開始いたしました。

これにより、現在取り組んでおります「第 1 次中期経営計画」の推進テーマの 1 つである「仕上げ設備効率化」を完了いたしました。

今後とも一層の製品の品質及びサービスの向上に努めてまいりますので、お客様及びお取引先様におかれましては、引き続きご愛顧賜りたくお願い申し上げます。

○新設大判カッターの設備仕様

- ・投資金額 約 1.1 億円
- ・生産（仕上）能力 約 5,000 トン/月
- ・営業運転開始 平成 25 年 7 月

【本件に関するお問い合わせ先】

広報・IR 室 電話 03-5600-1485
印刷用紙営業部 電話 03-5600-1459

以 上